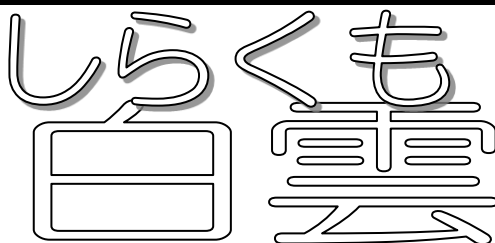


学校だより

千葉市立大宮小学校

令和5年4月28日 第2号



千葉市立大宮小学校

千葉市若葉区大宮台7-8-1

TEL 043 - 265 - 1200

e-mail : omiya. ELS@city. chiba.

ランドセルの役割

新年度が始まり1か月が過ぎました。子供たちは、新しい学級にも徐々に慣れ、学年らしさを感じられ始めました。今年度入学した1年生も大きなランドセルを背負って笑顔で毎日元気に登校しています。

先日の朝、いつものように正門に立っていると地域の方が声をかけてくださいました。その会話の中で「今どきの小学生のランドセルは、いろいろな色やデザインがありますね。」とお話しされていました。

小学生の登下校の姿を象徴するものが「ランドセル」です。ランドセルでなければいけないというきまりはありませんが、ほとんどの子がランドセルを背負って登下校をしています。日本特有の文化であるように思いますが、ランドセルの語源はオランダ語だそうです。ランドセルの誕生は、明治18年の学習院初等科の校則にさかのぼります。当初は、西洋式のリュックサックのような布製の鞆でした。この鞆は、オランダ語の「ランセル」というものでしたが、それが訛って「ランドセル」と呼ばれるようになりました。それからしばらくした明治20年には、今の形と同じ、箱形のランドセルが誕生しています。

それから136年間、耐久性があり、両手が自由に使え、転倒時にはクッションとなって後頭部を守るなどの特性から、小学生のランドセルは、ずっと使われ続け、日本の文化のようになっています。長い間、黒色と赤色が主流でしたが、当時の染色技術では牛革をムラなく染めるには、黒か赤しかなかったからだそうです。

社会の変化や技術の進歩により、色や形は多種多様になっても、変わらないものもあります。私はこう思います。ランドセルは、子供や家族の思いも一緒に詰めて、おうちと学校を行き来します。筆箱にきれいに削った鉛筆を入れて学校に送り出したご家族が、芯が丸くなった鉛筆を見て、「学校でたくさん勉強したんだな。」と嬉しくなったり、持って帰ってきたテストの点数で一喜一憂したり、使われずにすんだ防犯ベルに「ほっ。」としたり、ランドセルには、その子の学校での生活ぶりも詰まっているのです。この気持ちは、ずっと昔から変わってはいないでしょう。

大宮小学校の子供たち全員が、毎日ランドセルを背負って、笑顔で学校に通い、笑顔でおうちに帰ってほしい。職員一同、そう心から願っています。



お知らせとお願い



登下校の見守りについて

5月10日（水）8：30～児童集会を体育館で行います。その中で、9年間継続的にセーフティウォッチャーを行ってくださった方の表彰と、委嘱式を行います。

地域にお住まいのセーフティウォッチャーの皆様が、子供たちの登校や下校を見守ってくださっています。保護者の皆様も、お子さんの登校や下校の時刻だけでも構いませんので、見守りをお願いします。

「子どもにこにこサポート」について

千葉市教育委員会では、学校におけるいじめや体罰、性的な嫌がらせ、家庭内での虐待などの問題に対応するために、児童のみなさんに「子どもにこにこサポート」の手紙相談の用紙（切手不要）を配布し、子どもをめぐる様々な問題の解決に取り組んでいます。相談用紙は、年4回（4月、7月、10月、12月）学校をとおして配布し、いつでも相談できるように学校の所定の場所や千葉市の公民館にも置いてあります。千葉市教育委員会ホームページから相談用紙をダウンロードすることができます。なお、電話での相談も受け付けています。本事業についてお子様にご紹介ください。

「学校における合理的配慮の提供」について

平成28年4月1日から公立学校において、合理的配慮の提供が義務となっております。合理的配慮は、子どもに合った必要かつ適当な変更及び調整で、特定の場面において必要とされ、過度な負担を課さないものです。学校に合理的配慮の提供を求める場合には、学校（学級担任）に申し出ください。

地域訪問について

20日（木）の学校説明会と懇談会には、たくさんの保護者の皆様にご参加いただき、ありがとうございました。今後も保護者と学校、そして地域と協力しながら子供たちを育てていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

4月24日（月）～4月28日（金）に、地域訪問を行います。地域の様子や通学路を見ることを目的としております。担任に相談等がある場合は連絡帳でお知らせください。場合によっては、電話や学校にお越しいただきお話を伺うようにいたします。

交通安全教室

改正道路交通法により 令和5年4月1日からすべての自転車利用者について乗車用ヘルメットの着用が努力義務となりました。大切な命を守るために、自転車を利用するときには乗車用ヘルメットを着用しましょう。これから楽しいGWが始まりますが、交通事故には十分気をつけて過ごしましょう。

